

第 63 回 定時株主総会 質疑応答（要旨）

■事前に当社ウェブサイトにてお受けしたご質問への回答

- Q1. 歩行者ナビゲーションシステムの開発・販売についての状況を教えて欲しい。
- A1. 歩行者ナビゲーションは、カーナビゲーションと同様にネットワークデータの整備・維持管理を行っており、自社サービスに利用しているほか、他社サービスにもデータを提供している。
- 基本的に、人口密度が高い地域を中心に道路に付随する歩道のデータを整備しており、新たな取り組みとして、車・鉄道・バスなどを含めた移動ネットワークデータに歩行者を組み入れることにより、最適な移動を実現する仕組みを構築しようとしている。
- このネットワークデータは、移動に関する課題解決や MaaS を実現するために最適化したデータベースとなる。2023 年 4 月には、改正道路交通法が施行され、配送用ロボットが公道を走行することが可能となったことを受け、バリアフリーや歩行空間の整備も検討しており、当社の歩行者ネットワークの活用が広がると考えている。
- Q2. 当社が保有しているインド地図会社 C.E. Info Systems 社の 2023 年 4 月 1 日時点の保有株式数と日本円での評価額、及び今年度に追加の売却予定を教えて欲しい。
- A2. 当社が 4 月 1 日時点で保有している、C.E. Info Systems 社の株式は、保有株式数 250 万 3 千株、保有比率 4.66%、日本円での評価額は、40 億 7 千 4 百万円である。
- 同社については、インドに進出している日系企業への同社地図データの採用に関する協業を継続しており、一定のシナジー効果を得られていることから、関係維持を考えており、現時点では同社株式の追加売却予定はない。

上記質問 2 件の他に、当社の Twitter での活動についてのご意見を 1 件頂戴しました。

■株主総会当日に会場でお受けした質問への回答

- Q1. 第 2 号議案の取締役候補者 大迫益男氏の取締役会出席状況について、1 回欠席した理由を教えてください。
- A1. 大迫取締役は、株式会社ゼンリンプリントテックスの会長を兼務しており、印刷業界の会合と取締役会の日程が重なったことから、印刷業界の会合出席を優先した。
- Q2. マーケティングソリューション事業において、街中にある掲示板等の広告事業に注力する予定はないか伺いたい。
- A2. 当社のこれまでの広告事業は、住宅地図帳に各地域で関係性の深い企業の広告を掲載する手法を中心に展開してきた。
- 今後は、当社の全国約 60 カ所の営業所で地域に根差したマーケティングソリューション事業を引き続き推進していく。
- また、ウェブ媒体や印刷会社（ゼンリンプリントテックス）を活用した紙媒体等を含め、広告媒体についてもトータル的に検討し、マーケティングソリューション事業を推進する。